

線市長としてどう考えているのか。

A FGTの開発スケジュールについては半年ほど遅れているが、開業時期が遅れるなどの発言はなされていない。車両基地を有する本市としては、FGTは日本を挙げての世界初の技術開発であり、観光の目玉になると思っているため、その動向を注視したい。また、山陽新幹線への乗り入れについては、不可能との発言ではないと受け止めており、今後も関係団体の動向等を注視し、要望など行うべき活動を続けたい。

公園を活用した健康づくりの健康器具を

永尾 高宣 議員



今後急速に高齢化社会へと進み、特に団塊の世代は、数年後には後期高齢者となる。さらに社会保障費が増大している中、健康な高齢者を育む社会基盤の整備が急務である。その手段の一つとして、「高齢者が日本一元気な大村市」を実現するため、多くの世代に利用される地域の公園に健康器具や遊具を設置することはできないか。

A 公園への健康器具等の設置については、必要性を十分理解しているため、各公園の長寿命化計画に基づいて整備する際、検討したい。また、提案のあった総合運動公園及び、伊勢町公園への設置についても検討したい。

新幹線沿いに計画された市道建設は確実か

三浦 正司 議員



鉄道・運輸機構から説明のあった新幹線沿いの鬼橋町、竹松町付近工区において予定されている市道の計画道路は、工事完了後には確実に整備されるのか。また、現市道との接続部である原口第一踏切付近の付替道路については計画されていないが、整備を進めていくと松本前市長から答弁があった。この全路線は工事完了後には、確実に整備されるのか尋ねる。

A 原口第一踏切から宮小路踏切付近の区間については、新幹線工事完了後、つながった一本の市道として整備する予定である。また、市道鬼橋町竹松町線の原口第一踏切付近についても、通学路であり、安全対策上、整備が必要な路線と認識しているため、

新幹線工事完了後、当該区間の地権者のご理解をいただき、整備を進めたい。



行財政・一般

注12
ヒバクシャ国際署名への協力を求める

宮田 真美 議員



今年4月に、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が中心となり「生きていく間に何としても核兵器のない世界を実現したい」との思いのもと、国際署名が始まった。大村市も加盟する平和首長会議もこの署名への賛同・協力を採択しており、国内の多くの民主団体や自治体のみならず、世界的にも取り組まれている。大村市にも協力をお願いしたいがどうか。

A 市としては、市職員に対する署名の呼びかけのほか、市民に対しては、どのような方法が伝わりやすく、賛同を得られて、署名につながるのかという議論を重ね、周知活動等にできる限り協力し、実行したい。

山林の地籍調査

中瀬 昭隆 議員



「市民と議会のつとめ」において、林業が稼業として成り立たなくなっているため、後継者による山林の現地確認がなされていないことが多く、山林の地籍調査を急がなければ永遠に境界は不明のままになりかねないとの指摘を受けた。山林の地籍調査を優先的にできないか尋ねる。

A 本市の地籍調査事業については、平成25年度に5年近くあった残りの事業期間を約半分程度に短縮し、実施体制も2班から4班体制とし、現在進めている。町単位で実施しているため、山林部の先行実施については、困難であることを理解していただきたい。

地方創生GMの成果について

村崎 浩史 議員



地方創生ジェネラルマネージャーが就任し、8カ月が経過したが、これまでの活動内容と成果について尋ねる。また、来年度は、どのような新規事業を計画

